



たけの お仕事図鑑

就職した人。家業を継いだ人。起業した人。
ずっと地元の人。帰ってきた人。移住した人。
竹野で輝く「人と仕事」満載。



たけの お仕事図鑑 出版にあたり協力いたいたいた事業所

製造業

かばん・袋小物の製造(OEM)



(株)竹野産業

「かばんの生産量日本一」を支えて
きた技術をぜひ見に来てください。

建設業

土木・建築工事

(株)セイワ

社会的貢献度、建築する面白さ、
社員同士の信頼度等を紹介します。
豊岡市竹野町竹野2474-1 ☎0796-47-1135

建設業

土木工事

(有)竹野土建

UIターンを応援します。
ものづくりに携わる仕事と一緒に働きませんか。
豊岡市竹野町竹野438-2 ☎0796-47-0120

農業

梨・ぶどう作り

ふくい農園

農業は大変なことも多いですが、
それ以上のよろこびがあります。

建設業

土木・建築工事

(株)中川工務店



自分の目標に向かって一步
踏み出す勇気を持ってください。

建設業

電気・水道設備

(株)米田電気商会

竹野の海はキレイで良いところです。
豊岡市竹野町竹野2458 ☎0796-47-0071

卸売・小売業

刃物・利器工具販売・修理

川口刃物店

自然環境の良い竹野で、「移住」暮らしてみませんか。

豊岡市竹野町竹野1497-3 ☎0796-47-0126

卸売・小売業

自動車・石油販売

(有)竹野石油

竹野で50年商売しています。昔と変わらず良いまちです。
豊岡市竹野町竹野2460-2 ☎0796-47-0461

観光業

観光案内・海水浴場の開設・管理



(一社)たけの観光協会

透明度が高く美しい竹野浜を見ながらお仕事しませんか？

観光・宿泊業

政府登録国際観光旅館・飲食店

(株)奥城崎

シーサイドホテル
「誕生」という名の場所で、自分らしい未来をともに築きましょう。

観光・宿泊業

スキューバダイビング・民宿



Dive Resort T-style
/ 民宿ねこざき

仕事を風土も魅力いっぱい！
まずは竹野に遊びに来てください！

観光・宿泊業

旅館・マリンレジャー

(株)MotherEarth

Uターン・移住者も活躍中！
一緒に竹野を盛り上げていきましょう！

宿泊・飲食業

レストラン・一棟貸し宿



うちげの料理 八塩

移住お待ちしております。

宿泊・飲食業

グラノーラなどの製造・カフェ

Cafe Coucou

豊かな自然に囲まれた豊岡で、
新しい暮らしを楽しみましょう！

宿泊・飲食業

喫茶店・地域の見守り



ぱんぷきん

竹野へぜひとも移住していただき、
盛り上げてください。

サービス業

海岸清掃・美化

国立公園 竹野海岸を美しくする会

毎日、海岸美化活動を行っています。
美しい海を見に来てください。
豊岡市竹野町竹野17-22 ☎0796-20-1745

サービス業(青年経済団体)

地域貢献



豊岡市商工会
青年部 竹野支部

竹野にはたくさんの魅力があります。
ぜひ見つけてください。

サービス業(キャリア相談)

地方創生人材育成コンサルタント

ハッピー企画 HUBTONTON(合)

青い海を見ながらお話ししましょう。
「自分らしい」が見つかるはず。

制作／NPO法人たけのかぞく

企画／竹野 若者会議

出版／豊岡市役所 竹野振興局

この図鑑は、竹野の未来を真剣に考える若者たちの声から生まれました。

「竹野に関わってくれる人がもっと増えてほしい」「そのためには住む場所や仕事が大事だ」「でも竹野の仕事をてあんま知られてえへんよなあ」始まりはそんな会話からでした。出身や職業もバラバラだけど、地域をこよなく愛する若者たちが知恵を出し合い、地域の協力もあってようやく完成した図鑑。この図鑑を読んでくれた方が少しでも竹野に興味を持ち、竹野に来てくれるきっかけになれば…そんな思いが詰まった一冊です。

Contents

	宿泊	03
◎海の音 小林彩さん		
	ダイビング	05
◎Dive Resort T-style/ 民宿ねこざき 田中陽介さん・美紀さん		
	建築	07
◎(株)中川工務店 野田岳水さん		
	果樹	09
◎ふくい農園 福井基子さん・美治さん		
	飲食	11
◎うちげの料理 八塙 塩見達生さん・有希さん		
	福祉	13
◎豊岡市社会福祉協議会竹野支所 渋谷将司さん		
	縫製	15
◎(有)水口商店 水口大輔さん		
	農業	17
◎ピーマン・しいたけ農家 藤原大樹さん・佳奈さん		
	宿泊	19
◎「山の季」きやら 中瀬内海さん・弘朗さん		
	狩獵	21
◎猟師 鎌内克典さん		

兵庫県豊岡市竹野町

面積 102.77 km²
総人口 3,925人
(2024年10月現在)

たけの お仕事図鑑

竹野は山から海へと伸びる細長いまち。

「一つの川でつながっている」それが私たちの自慢です。

たくさんあつたまちの仕事も、人の数とともに減ってきました。

それで今はもう「仕事がないから住めない」って?

そんな誤解を解きたくてつくりました。

就職した人。家業を継いだ人。起業した人。

ずっと地元の人。帰ってきた人。移住した人。

まちの未来を案じつつ、竹野で輝く「人と仕事」ありますよ。

あなたのお仕事、ありますよ。

ないならつくればいいんです。



竹野地区

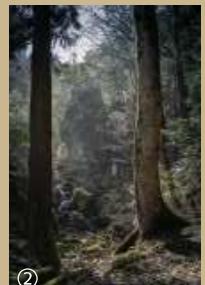
竹野浜で有名な海岸地域。潮風から家を守るために、外壁に「焼板」を張った家々が密集する。住民が海藻などを軒先に干す姿が季節の風物詩。

中竹野地区

竹野川中流域の平野部に小さな集落が点在する地域。地元で芋から作った名産「さしみこんにやく」が大人気。

竹野南地区

「床瀬谷」と「三原谷」に分かれる山間地域。それぞれ川沿いに小さな集落が点在する。寒暖差が激しいため、美味しい農作物ができる。



①JR竹野駅の桜

②三椒川源流は子宝の神「狗留尊仮」が鎮座

③竹野浜は「日本の渚100選」、夏は海水浴客で賑わう

④「轟の太鼓踊り」は県指定重要無形民俗文化財

⑤林の県道は気持ちの良い一本道

⑥竹野浜の雪は無風でしんしんと降る





宿泊

Q1 今のお仕事に就いたきっかけを教えてください。

高校卒業後、城崎の旅館で3年ほど働いた後、神戸でウェディングの仕事をしていました。年末に竹野に帰って、親戚や友達と集まるうちに「竹野で働きたい」と思つようになりました。隣の城崎の求人が多い中、珍しく竹野の求人を見つけ、それが「海の音」でした。接客が好きなので、すぐに応募しました。

Q2 仕事のやりがいについて教えてください。

色々なお客様と話すことが好きなので、「どこから来られましたか?」「今日は竹野で何をしましたか?」「などこちらから質問をしてたくさんお話をしています。お帰りの際に「また来年来ますね!」と言われたときが一番嬉しいです。

Q3 今までお仕事で一番苦労されたことを教えてください。

英語に苦手意識がありましたが、英語が得意なスタッフを見て、積極的に話す努力をするようになりました。自分しかないときに困ったことが起こったら、女将に電話するとすぐに助けて来てくれるのです。心強いです。



小林さんの1年



Q4 この会社ならではのこと教えてください。

とてもアットホームな会社で、夏のお疲れ旅行や忘年会、誕生日会など様々なイベントが開催されます。実は、入社3か月でレク委員長に任命され、レクリエーションイベントの企画をしていました。忙しいですが、毎回張り切って企画していく、イベントを終えたときの達成感は大きいです。

Q5 地域との関わりを通して竹野への想いについて教えてください。

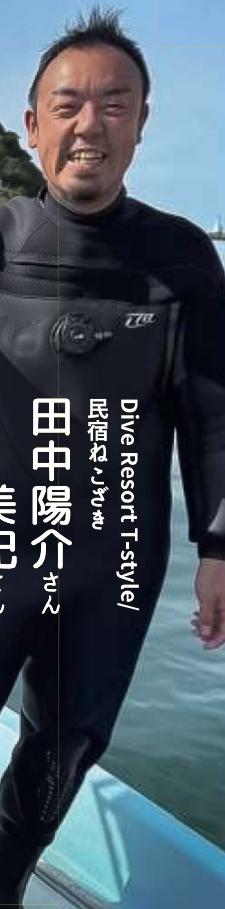
実家のある地域の老人会が「彩ちゃんが勤めているから」と言って海の音で忘年会を予約してくれたことがあります。子どもの頃から知っている人たちがこんな風に思ってくれ、竹野に生まれてよかったです。

たけの note

竹野がもっとこうだったら…
単身用住宅や外食できるお店が増えれば。
竹野っていいなと思う瞬間
きれいな自然が多い。
竹野でお気に入りの場所
浜辺。家の近くの浜辺でスケボーに乗ったり、夕方の景色を楽しんだりしています。
毎年たのしみにしている旬の食べ物
カレイの干物。



地域貢献できたら。漁業にも



Q1 今のお仕事に就いたきっかけを教えてください。

20歳の頃、友達と一緒に和歌山に行き、初めてダイビングをしました。海中の美しさに魅了され、趣味でインストラクターまで取得しました。大阪で務めていた会社がなくなり、2007年に香住のインストラクターの求人に応募したのが但馬に来たきっかけです。それから竹野に拠点を持ち、2010年にDive Resort T-styleを、2016年には民宿ねじわきを開店しました。

(たなか ようすけ・みき)
陽介さんは1981年大阪生まれ。美紀さんは1988年豊岡市生まれ。夫婦二人三脚で、ダイビングショップと民宿を元気に営業中。2015年は春の妖怪「ダンゴウオ」を目見ようとダイバーたちがやってくる。
※インタビューは妻介さんに答えてもらいました。

Q2 仕事のやりがいについて教えてください。

今までお仕事で一番苦労されたことを教えてください。

水中撮影に積極的に取り組んでいて、水中写真家を招いたイベントも行っています。自分もいい写真を撮れるよう工夫して、ブログやSNSに日々アップしているので、それを見てお客様が来てくれたときはとても嬉しい気持ちになります。また、見たことのない生物を見つけたときはテンションが上がります。



Q3 最近始めた新しい取り組みが あれば教えてください。



海の環境が昔とだいぶ変わったという話は漁師さんからよく聞きますし、自分でもそれを感じています。最近は漁協や漁師さんと一緒に漁場の造成など、海の環境改善にかかわることもしています。これからは、そういう取り組みを通じて、地域の漁業にも貢献できたらと思っています。また、そこに環境に興味を持っているダイバーたちをもっと巻き込みたいと思っています。

Q4 最近始めた新しい取り組みがあれば教えてください。

一緒に働いているスタッフさんへの想いについて教えてください。

アルバイトスタッフは地域の学生を積極的に採用するようにし、地元でこういう仕事をあるとということを知つてもらえたらと思っています。今は妻と2人ですが、過去には独立して同業者になったスタッフもいます。そういう人をこれからも育て、私たちもスタッフもお互いに感謝しあえる職場にしていきたいです。そして妻には、ここまで付いてくれて本当に「ありがとうございます」と一言です。



たけの note

竹野がもっとこうだったら…
飲食店が増えれば。
竹野っていいなと思う瞬間
猫崎半島が季節風から港を守ってくれるところ。
竹野でお気に入りの場所
ここ(民宿ねこざき)。
海も川も見えるから。
毎年たのしみにしている旬の食べ物
新米と近所の人がくれる野菜。



Q5 スタッフさんへの想いについて教えてください。

アルバイトスタッフは地域の学生を積極的に採用するようにし、地元でこういう仕事をあるとということを知つてもらえたらと思っています。私は妻と2人ですが、過去には独立して同業者になつたスタッフもいます。そういう人をこれからも育て、私たちもスタッフもお互いに感謝しあえる職場にしていきたいです。そして妻には、ここまで付いてくれて本当に「ありがとうございます」と一言です。



建築

(のだたけみ)
1996年竹野町生まれ。高校卒業後、地元で幼いころから馴染みのある建設会社に就職。現在は、工事の現場監督として、納期・予算・安全・品質を守って設計図を形にするために奮闘中。



- Q1 今のお仕事に就いたきっかけを教えてください。**
- 豊岡総合高校の建築科に進学し、学んだことを活かしたいと思い地元で就職しました。同期20人のうち専門を活かせる職に就いたのは10人弱。そのうち今も続けているのはおそらく自分1人かと思います。自分でも10年勤続できたことに驚いています。
- Q2 仕事のやりがいについて教えてください。**
- 「竹野南地区コミュニティセンター」や「ミニフレンシィ竹野店」など、地域の人利用する施設の工事現場にいる子どもたちの頃から知っている人に愛称で「だーくん」と声をかけてもらったりして、竣工時にやりがいを感じます。
- Q3 今までお仕事で一番苦労されたことを教えてください。**
- 現場では現場のやり方があって、学校で学んだことがそのまま役に立つわけではありませんでした。工事に携わると、電気・機械・トイレなど、新しい知識もたくさん必要になったので、慣れまで大変でした。でも、同時に、困ったことには遭遇してもすぐに相談すれば解決することもわかりました。



- Q4 一緒に働いているスタッフさんへの想いについて教えてください。**
- 竹野事務所は小学校の通学経路にあり、社長や従業員とも子どもの頃から顔見知りなので、安心感があります。建築部の人とは、毎日朝から夕方まで一緒に過ごし、出張中は夜も一緒にです。「たけみー」と下の名前で呼んでくれるアットホームな職場に感謝です。
- Q5 地域との関わりを通して竹野への想いについて教えてください。**
- 地域の日役にはなるべく参加しています。親と暮らしていますが、清掃除などの力仕事のときは自分が出るようになっています。他の参加者がほとんどお年寄りなので、集落の今後に不安を感じます。※除草や神社掃除など地域の共同作業のこと

たけの note

竹野がもっとこうだったら…
伝統行事や公共交通をUIターン者が増えることで守っていけたら。

竹野っていいなと思う瞬間

竹野の人は距離感が近くてあたたかみがある。

竹野でお気に入りの景色

ジャジャ山のてっぺんから見る猫崎半島。

毎年たのしみにしている旬の食べ物

柿。

地域の日役にはなるべく参加しています。親と暮らしていますが、清掃除などの力仕事のときは自分が出るようになっています。他の参加者がほとんどお年寄りなので、集落の今後に不安を感じます。※除草や神社掃除など地域の共同作業のこと



果樹



福井さんの1年(梨)

Q3 今までお仕事で一番苦労されたことを教えてください。

実が生るまでにたくさんの工程があり、力仕事も多いのですが、「おいしい!」と言ってもらえたなら、その苦労が報われて晴れやかな気持ちになります。孫たちもおやつ代わりに梨やぶどうを食べていて、喜ぶ姿は見ていて嬉しいです。

Q4 最近始めた新しい取り組みがあれば教えてください。

夫の父が若いころ、濱須井(竹野町)で梨の栽培をする農家が増えました。福井家の梨の栽培を始めたのは夫が生まれた1年後の1954年からです。私は2歳で福井家に嫁きました。当時は農協に勤務していたので、梨園の作業は私がお父さんから教えてもらって覚えました。重労働でしたが頑張ってついてきました。

Q5 一緒に働いているスタッフさんへの想いについて教えてください。

息子のお嫁ちゃんや濱須井へ孫ターン移住した方も作業を手伝ってくれるのでとても助かっています。果樹園の仕事をする夢があります。うちは家族で仕事をしているため、仕事をしながら時間共有できるって素敵なことです。農業はすべての基本であって、土を耕すことは心を耕すことだと思っています。



土を耕すことは人の心を耕すこと。



ふくい農園
福井 基子さん
美治さん



たけの note

竹野がもっとこうだったら…
移住者が増えていると聞いて嬉しいので、もっともっと増えてくれたら。
竹野っていいなと思う瞬間
山も川もあるところ。
竹野でお気に入りの場所
果樹園のさらに上の高台。
いい風が吹いたときすごく癒されます。
毎年たのしみにしている旬の食べ物
自家製の干し柿や干し芋。



飲食



(しおみたつお・ゆき)
達生さんは1978年豊岡市生まれ。有希さんは1984年豊岡市生まれ。魚の鮮度にとにかくこだわる職人気質の旦那さんと理解者の奥さん。地域のサポートを受けて子育てしつづけの食材をたっぷり使ったコース料理を提供。
※インタビューは達生さんに答えてもらいました。



地域の人気がいるから 安心して 仕事ができます。



Q1 今のお仕事に就いたきっかけを教えてください。
もともと海も魚も大好きで、建設業に就いていたころは、仕事終わりに海に行き、遅くに家に帰ってから釣った魚を料理していました。そのまま通っていた居酒屋のオーナーに料理の世界へ誘っていただき、いろいろな料理屋で修業しました。結婚機会に竹野へ引っ越し、海の近くでお店を持ちたいと考え開業に至りました。

Q2 仕事のやりがいについて教えてください。
開業前の勧め先では裏方の仕事が多かったので、お客様の反応を直接見ることができませんでした。今は自分のお店を持って、カウンターキッチンで料理をしているので、お客様の喜ぶ顔を直接見ることができます。また、お話をしたり、リピーターになって友達のように仲良くなれる人もいて、とても楽しいです。

Q3 今までお仕事で一番苦労されたことを教えてください。

魚の下処理にとにかくこだわっているので、仕入れた魚は必ずその日のうちに処理します。営業後の片付けが終わってから仕込みをするので、忙しい日は作業が深夜に及ぶこともあります。

Q4 最近始めた新しい取り組みがあれば教えてください。

魚を3枚におろし、塩を振り、水気が出てきたら少し風で乾燥させてから、氷水につけた「氷温熟成」を取り入れました。身が凍る直前の温度で保存することで、鮮度や風味を保てます。また、魚の血を循環させながら抜く新たな皿抜き方法にもチャレンジしています。

Q5 地域との関わりを通して竹野への想いについて教えてください。

妻は子どもが生まれてから1年で仕事に復帰しました。その際、近所の登録者に子どもを時間単位で預かってもらう「ファミサボ」に助けられました。子どもも慣いでいるので、頻繁に利用しています。普段応援してくれる地域の人があるから、安心して仕事ができます。反対に自分が役に立てるときには頼ってほしいです。

たけの note

竹野がもっとこうだったら…
飲食店が少ないので、もっと同業者が増えて賑やかになったら。
竹野っていいなと思う瞬間
近所の人がみんな親切。
竹野でお気に入りの場所
店の目の前の弁天浜。
毎年たのしみにしている旬の食べ物
夏はふくい農園さんのぶどう。
秋冬は炙りサワラ。



やつぱり 隣近所の助け合い。

豊岡市社会福祉協議会
竹野支所
渋谷将司さん



Q4

最近始めた新しい取り組みがあれば教えてください。

豊岡の事務所で勤務していた頃、商業施設と連携して、買い物難民の方をお店に送迎する「買いもん行こかー」が立ち上りました。しかし、このとき車は1台のみでルートやエリアが限定されてしまいました。そこで現在、社協所有の福祉車両を活用し、地域版の買いもん行こかー」を中竹野地区コミュニティの協力のもと行っています。

豊岡市社会福祉協議会
竹野支所
渋谷将司さん

(しぶやまさし)

1988年豊岡市生まれ。移動貰い物困難に対する取り組み、地域サロンを通じた住民同士のつながり作り、高齢者への見守り、声かけ活動の推進、個別相談対応などを通して、地域課題の解決に向けて奔走中。

Q1 今のお仕事に就いたきっかけを教えてください。

子どもの頃、ネフローゼ症候群という病気になりました。約10年にわたり入退院を繰り返す生活をしていました。この経験から医療や福祉に興味を持ち、福祉系の大学へ進学しました。また、高校時代、台風23号で豊岡が大打撃を受けた際に、ボランティアに行って被災者のお手伝いをした経験もきっかけのひとつです。

Q2 仕事のやりがいについて教えてください。

福祉の仕事は、この町に暮らす困りごとのある人全員を対象としています。内容は多岐にわたります。人間模様にも考慮しなくてはならない繊細な仕事で、実のところ、相談内容を解決できないこともたくさんあります。それでも、改善の道筋がついたときに民主委員さんなどから「ありがとうございます」と言ってもらえる関係性があるおかげで続けてこられました。

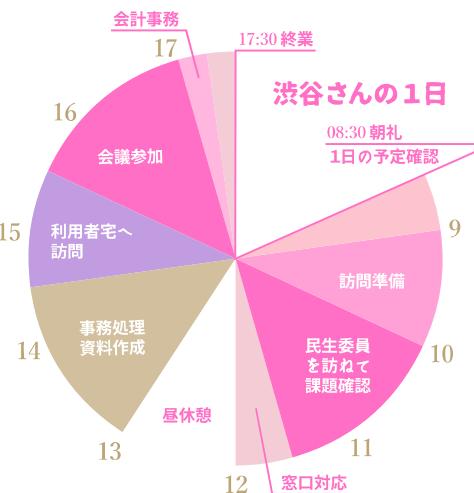
Q3 お仕事で一番苦労していることを教えてください。

昔は当たり前だった隣近所の助け合いがなくなっていることです。ゴミを出したいのに袋がないなど小さなことで確かに困っている人がいます。制度やサービスで何でもできる「という誤解があるかもしれません。実はできることに限りがあります。こうした中、やっぱり隣近所の助け合いやご近所付き合いは大切だなと思います。

Q5

一緒に働いているスタッフさんへの想いについて教えてください。

職場の情報共有として、月に一度会議をしますが、日常会話のキャッチボールをするように心掛けています。そうすることで、互いに協力できる環境づくりにつながると思います。相談内容によっては大変なこともあります。ですが、一緒に取り組んでいければと思っています。皆さんにはとても感謝しています。



たけの note

竹野がもっとこうだったら…
人材不足により継続できない取り組みもあるため、みんなが知恵を出し合い、協力し合えたら。

竹野っていいなと思う瞬間

人があたたかいところ。

竹野でお気に入りの景色

竹野浜に面した場所にある父の実家からの風景。

毎年たのしみにしている旬の食べ物
サザエやアワビ。





縫製

Q1 今のお仕事に就いたきっかけを教えてください。

大阪で運送業をしていましたが、肌に合わず22歳で竹野へリターンしてきました。我が家は祖父の代から縫製業を営んでおり、リターン当初は家業を手伝っていました。その後父が病気になり、28歳の時に経営を引き継ぎました。

Q2 仕事のやりがいについて教えてください。

自分で作った商品が、道具として現場で使われているところをこつそり見に行くのが好きです。実際に使われているのを見るとやりがいを感じます。

Q3 今までお仕事で一番苦労されたことを教えてください。

父の技術を継承するのは大変でした。今でも父のノートを見返します。まず発注会社から送られてくる図面を見て、どういう順序で商品を縫うかを判断しますが、これは慣れていないとできません。段取りを決めるのに1日かかるものもあります。



父の技術を継承。



Q4 最近始めた新しい取り組みがあれば教えてください。

父の代までは、自宅でミシンを所有して作業する「内職さん」にお願いすることが多かったのですが、私の代からは会社に来てもらう従業員を増やしました。こうすることで、従業員が高価なミシンを所有する必要もないですし、工程数の多い作業を複数人で得手不得手を考慮しながら役割分担することができます。

Q5 一緒に働いているスタッフさんへの想いについて教えてください。

スタッフさんへの想いについては、いつも経営を引き継いで10年近く経ちますが、最近では常に10人程の従業員が交代で来てくれて助かっています。竹野出身者も多く人づてて求人情報が広まるのも地域の魅力だと思います。製作業には根性のある人が向いているので、長く続けてくれたら嬉しいです。

(みずぐちだいすけ)
1987年竹野町生まれ。22歳で地元竹野へリターンし、祖父の代から続く縫製業を継業。現在は個別の施設専用の特殊なオーダーを受けて縫製品を製作することも。

水口 大輔さん

(有)水口商店

たけの note

竹野がもっとこうだったら…
学校がもっと色々なことを学べる場所になれば。

竹野っていいなと思う瞬間
大阪から帰ってきて、水がおいしいと感じたこと。

竹野でお気に入りの場所

幼い頃よく父と散歩した弁天浜。

毎年たのしみにしている旬の食べ物
鮭の塩焼き。

「おいしく」と喜んで食べてくれる。

ピーマン・しいたけ農家
藤原 大樹さん
佳奈さん

(ふじわら・だいき・かな)
大樹さんは1988年竹野町生まれ。佳奈さんは1991年大阪生まれ。30歳で生まれ育った竹野ヘリター。農業を一から学び、現在は主

要商品としてピーマンとしいたけを栽培。奥様とふたりのお子さんと田舎ライフを満喫中。
※インタビューは大樹さんに答えてもらいました。



Q1 今のお仕事に就いたきっかけを教えてください。

専門学校を卒業し、そのまま大阪で歯科技工士として働いていましたが、27歳のときに実家の母が亡くなりました。悩んだ末、父のことも気になるので、妻子を連れて地元に帰る決断をしました。帰つてからは豊岡市の農業スクールに通い、新規就農者向けの助成金を活用して農業を学びました。

Q2 仕事のやりがいについて教えてください。

作ったものを子どもたちが「おいしい」と喜んで食べてくれるときにやりがいを感じます。

Q3 今までお仕事で一番苦労されたことを教えてください。

2020年に本格的に農業を始めましたが、初めは1人で作業していたので、ピーマンの収穫が追いつかなくて大変でした。2023年からは下の子どももこども園に通い始めたので、妻と一緒に体制で収穫できるようになりました。少し楽になりました。完全防備の日焼け対策をして取り組んでくれる妻にはいつも感謝しています。それでも天候や運作被害には悩まされます。

Q4 最近始めた新しい取り組みがあれば教えてください。

ドローンの免許を取得し、農業に活かしています。地域から依頼を受け、ドローンを使ってカメムシなどの防除薬を散布しています。地域の人々に喜ばれると同時に副収入にもなっています。

また、今後事業を大きくしたい気持ちがあるので、繁忙期にスポット的に手伝ってくれる人がいたら助かります。

ゼロからピーマンの作り方を教えてくださった同じ谷に住む農家さんは心から感謝しています。今でも気にかけて、うちの畠の様子をこまめに見に来てくれるのに愛を感じます。また、JAでは「ピーマン部会」と「きのこ部会」に所属していて、同世代の仲間とも交流できるのが強いでです。

Q5 地域の農家さんとのつながりについて教えてください。

地域の農家さんとのつながりについては、同じ谷に住む農家さんには心から感謝しています。今でも気にかけて、うちの畠の様子をこまめに見に来てくれるのに愛を感じます。また、JAでは「ピーマン部会」と「きのこ部会」に所属していて、同世代の仲間とも交流できるのが強いでです。



たけの note

竹野がもっとこうだったら…

もっと若い人がこの町に来て、農業で生きていける環境を地域ぐるみで整備できれば。

竹野っていいなと思う瞬間

動物園に行かなくてもシカやイノシシに遭えるところ。どのかな田舎なので、子どもが非行に走りにくい!(笑)

竹野でお気に入りの景色

家の周りで見るホタル。竹野浜。

毎年たのしみにしている旬の食べ物

もちろん我が家のはピーマンとしいたけ。しいたけのから揚げはおすすめです!

藤原さんの1年(ピーマン)



宿泊

Q1 今のお仕事に就いたきっかけを教えてください。

夫とは但馬で出会い、1997年に結婚しました。夫は飲食業ですから、2人で宿をやろうという話になりました。もともと私の祖母が持っていたこの土地に竹野出身で大工の父が私たちのために立派な宿を建ててくれました。

Q2 仕事のやりがいについて教えてください。

「お料理がおいしかったです」と言われるとやっぱり嬉しいのです。また、以前来られた方との再会も嬉しいです。中には親御さんの介護や子育てがひと段落したタイミングで久しぶりに再来される方もいます。

Q3 今までお仕事で一番苦労されたことを教えてください。

2021年12月に大雪が降り、3日間停電したことがあります。電気が点かなければお客様に泊っていただけないため、すぐにお断りの連絡を入れました。水道管が破裂して水が止まるなど、インフラ系の打撃はひどく、大騒動でした。

Q4 最近始めた新しい取り組みがあれば教えてください。

予約制だったランチをオープンで営業するようになりました。既製品は使わず、自家製の野菜を使った小鉢や天ぷら、手打ちそばなどを提供しています。

Q5 子育てについて教えてください。

開業前年に長男が生まれ、その後2年ごとに出産して3人の男子を育てました。開業してから、本当に目まぐるしい日々でした。宿が忙いので、土日のイベントに行けないだけでなく、子どもを実家に預かってもらうこともありました。それでも子どもは虫を捕まえたり、川で遊んだり、雪でソリをしたり、自然の中で勝手に育ってくれたことに感謝しています。



11月でも天の川が見られます。

(なかせうつみ・ひろあき)

内海さんは1972年豊岡市生まれ。弘朗さんは1969年神戸市生まれ。山に囲まれた大自然が特徴的な南地域で2000年から民宿を経営。この場所はもともと内海さんの祖母宅があつた思い出の地。仲良し夫婦で宿もお宿はとっても魅力的。

※インタビューは内海さんに答えてもらいました。

たけの note

竹野がもっとこうだったら…
浜と山の各地域のつながりがもっと強くなり、お互いに協力できれば。
竹野っていいなと思う瞬間
竹野の海のきれいさ。
竹野でお気に入りの景色
きやらの周りで見る星。
11月でも天の川が見られます。
毎年のしみにしている旬の食べ物
4月のこごみの天ぷら。6月の角アゴのお刺身。





狩獵

(かまうちよしのり)
1973年大阪生まれ。幼少期に竹野の海に魅了され、2013年に竹野へ念願の移住。海の仕事を興味があったものの、人づてに紹介してもらい「山の仕事」をスタート。日々を楽しむことが山暮らしのモットー。

自然の中には、 まだ知らないこと がたくさん。



鎌内克典さん
獵獵師

鹿にかかった鹿を発見
止め射し、運び出し

Q1 今のお仕事に就いた きっかけを教えてください。

前職の林業を始める前に受けた講習会で聞いた「半林半X」という言葉がきっかけとなり、今の仕事につながりました。X(別の仕事)の方を模索し自分でできるることは何かと試してみた結果、「獵獵師」(有害鳥獣駆除)へ行きつきました。
※林業を行なながら別仕事も同時に行なうライフスタイルのこと

Q2 仕事のやりがいについて 教えてください。

地元や地域、山林所有者さんからの感謝の言葉が一番のやりがいです。収入は安定せず、賃沢もできないほどですが、「ありがとう」「被害が減った」などと声をかけていただくと、「よーし頑張ろう!」という気持ちになります。

Q3 お仕事で一番苦労している ことを教えてください。

年に一度ほどですが、100kg前後のシカが鹿にかかることがあります。場所や個体によっては現場から車で運び出すのに1時間以上かかることもあります。疲労困憊します。あきらめて途中で解体してから運び出すこともあります。

Q4 山でチャレンジしている ことを教えてください。

動植物など自然の中には、まだ知らないことがたくさんあるので、「この木の葉は食べられる」「この季節のこの獣はおいしい」などの情報を聞いたときには、積極的に試すようにしています。

Q5 獵獵師としての 竹野への想いについて 教えてください。

竹野では鳥獣被害が多く、山や農地、宅地にまで獣の被害防止柵が張り巡らされています。被害防止のためには仕方のないことです。個人的には景観を損ねていると感じるので、柵で囲わなくて安心して生活できる地域になればいいと思います。

